

## 橿原市特別職報酬等審議会 3 回目 会議録

- 1 日 時 令和5年1月16日(月) 午前10時から
- 2 場 所 本庁本館4階第1会議室
- 3 出席者 委員 田中会長、森嶋委員(職務代理)
- 50音順 上田委員、佐藤委員、島本委員、辰井委員、榎谷委員、森脇委員、山中委員、吉田委員
- 事務局 戸田企画戦略部長、細川企画戦略部副部長、竹村人事課長(司会)
- 河合人事課課長補佐、寺本人事課給与係長、末廣人事課主事

### (1) 開会

### (2) 審議

#### 1. 第2回審議会内容の確認

- ・市の財政状況は黒字ではあるが、黒字の主因として一時的なものがあり、また今後の事業や基金の残額のことを考えると非常に厳しいことから良好とまでは言えない。
- ・県内や類似団体の比較では高いとまでは言えない
- ・先進国の中での給与水準を考えると報酬を上げて良いのではないか。
- ・財政緊急事態宣言がでているし、また市民活動のための各種補助金も削られている状況で報酬は現状維持で良いのではないか。
- ・厳しい財政状況を踏まえると、現状自主的に給与カットを行っているが更なる自主的なカットを行うべき。
- ・結論として本則の給料・報酬については全て据え置きが妥当
- ・ただし、附帯意見として、更なる自主的な給料の引き下げを検討する必要がある

#### 2. 答申案について

#### 3. その他

#### 【資料】

- 資料 1 類似団体24市(Ⅲ-3)一覧(人口100,000人以上150,000人未満)
- ” 2 橿原市特別職報酬額の推移
- ” 3 橿原市特別職・一般職給料月額・年収比較表

- 〃 4 県内12市 特別職報酬額（月額・年収）（本則）
- 〃 5 県内12市 特別職報酬額（市長・副市長・教育長）減額措置状況
- 〃 6 県内12市 特別職報酬額（月額・年収）（減額調整後）
- 〃 7 県内12市 特別職報酬額比率一覧
- 〃 8 類似団体24市（Ⅲ-3） 特別職報酬額（月額・年収）（本則）
- 〃 9-1 類似団体24市（Ⅲ-3） 特別職報酬額（市長・副市長・教育長）減額措置状況
- 〃 9-2 類似団体24市（Ⅲ-3） 特別職報酬額（議長・副議長・議員）減額措置状況
- 〃 10 類似団体24市（Ⅲ-3） 特別職報酬額（月額・年収）（減額調整後）
- 〃 11 類似団体24市（Ⅲ-3） 特別職報酬額比率一覧
- 〃 15 近年の景気動向
- 〃 16 人事院勧告の実施状況（行政職（一）関係）
- 〃 17 檀原市給与削減状況
- 〃 18 ラスパイレス指数、平均給料月額等の状況（県内12市、類似団体24市（Ⅲ-3）
- 〃 19 県内12市 財政状況
- 〃 20 類似団体24市（Ⅲ-3） 財政状況
- 〃 21 令和3年度 決算状況等調査表
- 〃 22 平成25・28・令和元年度特別職報酬等審議会答申概要
- 〃 23 用語

**【質疑応答：特別職】**

事務局：〈答申案読み上げ〉

委員：付帯意見で、市民活動が停滞しているとあるが、それ緊縮財政によるものということだが、今後の税収の確保について、具体的にどんなことがあるか。

事務局：ふるさと納税とか力を入れて運営していく、また税収の確保というのは市として進めていかなければならないと考えている。

会長：市民活動についての停滞についてそれを配慮いただきたいということだったが、市民活動に影響があるか。

委員：ある。活動がしにくい。各種団体を持っているが、活動が停滞している。

会 長：付帯意見について付け加えることあるか。

委 員：さらなる財政状況の改善ってこれ以上どうするのかという話。それならば例えば企業誘致をしながらとか、具体的にというのが〇〇委員の意見。私も同じように思う。

委 員：補助金がカットされることで、市民活動が停滞する、その結果市民生活に影響が出ているという話であった。それと市長、副市長、教育長自ら率先して給料さらなる引き下げとあるけど、議員も含めての話かなと思っていたが。

会 長：わかりやすく言えば補助金が削減されて市民活動が停滞してるんだから、市民活動が停滞するような補助金の減額はやめてほしいとこうことか。事務局で、この答申案との関係で、何か補充できるか。

事務局：事務局としていろんな事業はあると思うが、そこは具体的に書くのは難しい。

委 員：具体的な事業まではいいが、補助金を出すというのは、全般的なことだと思う。

会 長：これまでの審議の内容の中で、今後は税收の確保に努め、またさらなる財政状況の改善を図り、行政サービスを充実させていく必要があると、また、補助金の減額などは控えてほしいという内容を盛り込むような形でよいか。

委 員：市民活動が停滞することによって市民生活に影響があるということを入れてほしい。活動が停滞することで、市民生活に影響があるということで、そっちの方が重要。

委 員：今後は税收の確保に努め、また更なる財政状況の改善を図り、という言葉は公務員の常套句で別にそんなんしょうと思ってへんという気が、本音としてはある。この税收の確保というところで、ふるさと納税等という言葉を入れた方が具体的。私の意見が反映されたかなと思う。

委 員：議員報酬については、出てなかったのか。

事務局：議員報酬の話は出ていた。

委 員：前回の話で一番大きなポイントがやはり〇〇委員さんが言われていた、補助金が削減されることによって、市民活動が停滞していく影響があるということが大きなポイントなのかなと思います。

会 長：市民活動の問題についてですね。例えば補助金の減額について考慮してほしいということですか。もう付帯意見の中で指摘できるか。

事務局：付帯決議について、市民活動が停滞し、これに市民の生活にも影響が出ているという文言を足し、あと収税確保の中に括弧書きでふるさと納税等を追加、あと市長と副市長、教育長自ら率先して報酬額の更なる引き下げ、の欄でこの欄にも議員も加えるというのが今出ている意見と考えるが。これでよければ修正をする。

委員：市長、副市長、教育長は自ら率先して給料の更なる引き下げを検討する必要もある、という中で、議員を入れていないというのはなぜか。

事務局：前の話の中では議員の話も出てたかもしれないが、主に市長とか市側の立場の人を主に議論があったので議員は入れておりません。議員も必要という意見であれば、それは修正する。

委員：このままでいいのではないか。議員については議員の立場で、付帯決議をつけなくても、自ら市の今のこの市長、副市長、その辺の方々の動向を見ながら、そこは見極めていくのではなかろうかとそのように理解できる。

委員：ここで一番重要なことは、更なる。更なるというのは、前回の議論のところでは、市長副市長教育長だけだったのでは。

会長：付帯決議で議員は入れないということでもいいか。

委員：議員も今10%のカットになっている、だからそのままの現状っていうことで、市長・副市長・教育長はもっと減らしてほしいという意味の更なるという意味か。

委員：議員は自分たちの中で考えながら議員定数を減らしながらいろいろ工夫してやってるので、市長等がこれだけ下がったとなると、常識的にまた議員さんもいろいろ考えるのではないか。だからわざわざここに入れなくてもよいのではないか。

委員：議員については、この文言を見て自分たちも考えるところがあればするという判断で、今までからも市長とかも今まで自主的な減額をしておられたわけですね。

委員：付帯決議ですので、強制的ではない。自主的というところに望みをかけているだけのこと。議員をここでわざわざ出さなくてもいいのかなと。

会長：どうですか、このままでいいですか。

(異議なし)

(最終案確認)

(全会一致で異議なし)

会 長：最後の議題のその他について。

事務局：これまでの貴重な慎重なご審議ありがとうございました。答申書につきましては、市長に提出させていただきまして委員様の方にも送付させていただく予定となっております。

会 長：委員の皆様のこれまでの長時間にわたる熱心なご審議ありがとうございました。また本会の運営について協力いただきましたことも感謝申し上げます。審議の結果に基づいて、先ほど賛成いただきました答申を後日私の方で市長に届けたいと思います。ありがとうございました。